

# 伊達政宗と秀宗 父子の愛と哀しみをつづる管弦劇

## 天の赦すところ ~西の伊達 東の伊達 父子は日月の如く

作・作曲・演出 大日琳太郎

重厚な時代劇。終幕はほぼオペラといってもいい。2011年の秋、「伊達政宗公がいま地上に降臨したら被災した人々にどのような言葉をかけるだろうか」をテーマに大日が構想を練り上げた。結果、台本執筆のヒントになったのは政宗公の詠んだ漢詩であり、題名もこの中の一節「残軀天所赦」から採られている。2013年初演。2015年秋、宇和島伊達400年祭記念公演として改訂初演され、宇和島、東京、仙台と巡業した。

### あらすじ

関ヶ原の戦いで東軍が勝ち、天下は徳川に大きく傾く。豊臣家で養育された伊達秀宗(幼名兵五郎)は、人質として宇喜多秀家の屋敷に囲われていたが、敗れた西軍の残党によって命の危険にさらされる。守役の能勢修理大夫と、侍女おたあ(小西行長の養女・高麗出身)のとっさの機転により難を逃れるが、おたあから朝鮮征伐の悲惨さを聞かされた秀宗は、生涯戦いをせず人間らしく生きると誓うのであった。

徳川方に保護された秀宗は、十余年後、大阪冬の陣に参戦を命じられる。しかし、恩顧のある豊臣家に弓ひくことは痛恨の極みであり、またそれはおたあとの誓いを破ることであった。出陣の前の晩、秀宗の苦渋を家臣山家清兵衛が「理外の理」という言葉で一蹴する。清兵衛は父政宗が遣わした家臣であったから、その言葉には逆らえず、ひとり嗚咽する秀宗。

二か月後。冬の陣の戦功により秀宗は宇和島10万石を拝領する。しかし、仙台62万石を継いだ弟への嫉妬と相まって秀宗の父に対する憎しみは強くなっていく。元々秀宗は、父の愛情から遠く離れて成長した子であった。そんな折、政宗から惣奉行に任ぜられた清兵衛は、忠義の盾を押し立てて秀宗の憎悪をはね返し、烈々と宇和島入りを押し進めようとするが、清兵衛の黒鋼にも勝る堅き忠義心は、かえって家臣らの反発を招き、やがて起きる惨劇「山家騒動」を予見させる。

一方その頃、駿府城に仕えていたおたあは、キリシタン迫害に遭い島流しに処せられるが、所持品として「養父の形見のロザリオ」を所望したことから、事は思いもよらぬ方へと進んでいく。

数日後の慶長二十年三月五日、伊達五十七騎が宇和島に向かって出船する日、船着き場に女人一行が通りかかり、秀宗の門出を祝って鹿踊りを舞ってみせる。その中におたあも潜んでいた。おたあは舞いながら秀宗に近づき、その胸元からロザリオを奪おうとする。当時ロザリオは禁制の品であったので、秀宗の行く末を案じてのことでもあったが、これを徳川家家臣の柳生は見逃さず、船着き場は一転裁きの庭となる。秀宗が不利と見えた所でおたあの主人阿茶の局が窮地を救い、秀宗一統は事なきを得る。が、なかなかロザリオを返さぬ秀宗。そんな彼を諫めたのは、不思議なことにおたあの朋輩おくらであった。秀宗は、おくらから香る芳香が、幼い頃実母から匂った白檀香と同じであることに気がつく。しかし、おくらの出自を問う間もなく出船の時は来て、女人らに乗せた船は、おたあの歌う「アヌスデイ」と共に沖の彼方に去りゆく。

歌が終わると場面は変わり、時は二十年後の寛永十三年。政宗は病床に伏し余命いくばくもない。將軍家光との対面に同座を許され父の屋敷を訪れた秀宗は、自分の犯した罪の重さに苛まれ、ついに清兵衛の殺害を告解する。おたあとの誓いを破り、けだもの同然になり下がった我が身を悔いる秀宗に、政宗がかけた最後の言葉は……。



Cast & Staff 2013

伊達秀宗	松岡祐季	伊達政宗	大山大輔	修理大夫	小仁所伴紀	柳生宗矩	湯浅桃子	藤間瑠瀧	若柳梅京	清水茂兵衛	角岳史	片倉小十郎	大日琳太郎	福松子平	崔美季	松崎太郎	芳本卓也	佐藤皖山	佐藤亜美	鶴岡たみ子	石坂亥士	おのりく	富田沙緒里	藤間瑠瀧	尾熊英樹	浅沼武人	西本孝徳	(株)松竹衣装	(株)山田かつら			
山家清兵衛	大蔵基誠	伊達政宗	大山大輔	おたあ	藤間瑠瀧	おくら	若柳梅京	角岳史	大日琳太郎	福松子平	崔美季	松崎太郎	芳本卓也	佐藤皖山	佐藤亜美	鶴岡たみ子	石坂亥士	おのりく	富田沙緒里	藤間瑠瀧	尾熊英樹	浅沼武人	西本孝徳	(株)松竹衣装	(株)山田かつら	藤間瑠瀧	尾熊英樹	浅沼武人	西本孝徳	(株)松竹衣装	(株)山田かつら	
振付	藤間瑠瀧	舞台監督	尾熊英樹	照明	浅沼武人	音響	西本孝徳	衣装	(株)松竹衣装	床山	(株)山田かつら	通訳	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら

Cast & Staff 2015

伊達秀宗	大田翔	伊達政宗	大山大輔	阿茶の局	宮園純子	修理大夫	高橋元太郎	おたあ	富田沙緒里	柳生宗矩	藤間瑠瀧	おくら	若柳梅京	清水茂兵衛	角岳史	片倉小十郎	大立目弘	伊達忠宗	前田侑太郎	兵五郎他	佐藤瑛利子	弥五七他	小野寺博	葛西三九郎	若松大二郎	古内主膳	福松子平	チェロ	海野幹雄	ギター	若生智彦	ピアノ	林品安	フルート	荒川洋	神楽太鼓	石坂亥士	ギター編曲	若生智彦	音楽協力	中原達彦	間奏曲作曲	荒川洋	振付	藤間瑠瀧	舞台監督	尾熊英樹	照明	浅沼武人	音響	濱田一郎	舞台美術	木村芳孝	衣装	(株)松竹衣装	床山	(株)山田かつら	通訳	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら
山家清兵衛	井坂俊哉	伊達政宗	大山大輔	阿茶の局	宮園純子	修理大夫	高橋元太郎	おたあ	富田沙緒里	柳生宗矩	藤間瑠瀧	おくら	若柳梅京	清水茂兵衛	角岳史	片倉小十郎	大立目弘	伊達忠宗	前田侑太郎	兵五郎他	佐藤瑛利子	弥五七他	小野寺博	葛西三九郎	若松大二郎	古内主膳	福松子平	チェロ	海野幹雄	ギター	若生智彦	ピアノ	林品安	フルート	荒川洋	神楽太鼓	石坂亥士	ギター編曲	若生智彦	音楽協力	中原達彦	間奏曲作曲	荒川洋	振付	藤間瑠瀧	舞台監督	尾熊英樹	照明	浅沼武人	音響	濱田一郎	舞台美術	木村芳孝	衣装	(株)松竹衣装	床山	(株)山田かつら	通訳	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら
伊達秀宗	大田翔	伊達政宗	大山大輔	阿茶の局	宮園純子	修理大夫	高橋元太郎	おたあ	富田沙緒里	柳生宗矩	藤間瑠瀧	おくら	若柳梅京	清水茂兵衛	角岳史	片倉小十郎	大立目弘	伊達忠宗	前田侑太郎	兵五郎他	佐藤瑛利子	弥五七他	小野寺博	葛西三九郎	若松大二郎	古内主膳	福松子平	チェロ	海野幹雄	ギター	若生智彦	ピアノ	林品安	フルート	荒川洋	神楽太鼓	石坂亥士	ギター編曲	若生智彦	音楽協力	中原達彦	間奏曲作曲	荒川洋	振付	藤間瑠瀧	舞台監督	尾熊英樹	照明	浅沼武人	音響	濱田一郎	舞台美術	木村芳孝	衣装	(株)松竹衣装	床山	(株)山田かつら	通訳	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら	彭偉	李訓承	許書涵	(株)山田かつら